

第4回 TOEFL アライアンス会議 (大阪府立和泉高等学校研究授業見学) 報告書

日 時：平成 26 年 9 月 29 日(月) 参加者：西川久美

1 大阪府立和泉高等学校 学校概要

- ・1901年 泉南郡立泉南高等女子学校として開校
- ・1915年 府に移管し大阪府立泉南高等女学校と改称
- ・1928年 校名を大阪府立岸和田高等女学校と改称
- ・1948年 男女共学の大阪府立和泉高等学校となる
- ・2010年 民間から中原徹校長（2013年より大阪府教育長）が就任→TOEFL に特化したカリキュラムを策定
- ・2011年 TOEFL 指導に特化した学校設定科目として「英語超人」を設定
- ・2012年 普通科1年生にグローバルコース（80名）とスタンダードコースを設置
- ・2013年 1年生にグローバル科（80名）を設置

2 和泉高等学校の学校設定科目「英語超人」について

(1) 変遷

- 1期生（2011年）：2年生18名の選択授業としてスタートした。英語に対するモチベーションと英語力が高い生徒を対象に開講するために、選抜テストを実施し、80名受験した中から18名を選抜。選抜方法は、TOEFL用の単語帳を与え、その中から単語テスト、例文に関する文法テスト、リスニングテストを実施。その後、面接試験も行った。
- 2期生（2012年）：2年生24名の選択授業としてスタートした。選抜には1期生と同様のテストを行ったが、面接試験はボーダーゾーンの生徒のみとした。
- 3期生（2013年）：グローバルコース（英数国の発展的な内容を行う学校内の独自コース）を開設。グローバルコースの選抜には入試合格発表後すぐに別途選抜試験（国・数・英）を実施。200名が受験し、1年生80名を選抜。グローバルコースのカリキュラムに設定科目として位置づけて授業を実施

(2) 背景

大阪府教育委員会は高等学校の授業に TOEFL iBT を取り入れるなど、TOEFL iBT を基軸とした英語教育改革を推進している。これにかかわり、大阪府教育委員会は「スーパー・イングリッシュティーチャー（SET）を活用した TOEFL iBT 教育の推進」を始め、SET の育成や、外部機関との連携によって生徒の学力向上を図る授業の推進に力を入れている。和泉高校は TOEFL 専門予備校や TOEFL テスト実施団体等と連携を図って「英語超人」の授業教材の開発を進めている。

(3) 授業での取組

視聴覚教室を利用して ICT を活用した授業を展開している。教室環境はプロジェクター、PC1 台、スピーカーで、教員がリモコンとして iPhone を使用している。TOEFL の試験に対応するために、論理的思考力をつけるための活動を多く取り入れていた。具体的には、自分の意見に 3 つの理由をつけて答える 3PointsGame を導入したり、単語を覚える際に自分で文脈(例文)をつけて覚えさせることを徹底したりしていた。また、映画のセリフ(英語)をペアワークで練習させた後、映像に合わせてアテレコさせたり、教員が基本的にすべて英語で発話したりするなど、生徒が英語を聞く(話す)機会が多く設けられていた。

3 TOEFL 対策で必要なこと

(1) 単語力を養う

- ・英検 3 級に必要な単語数は 1,500 語、英検 2 級だと 5,000 語だが、TOEFL iBT テストで 100 点を取るためには 10,000 語が必要。
- ・覚えたい単語は**自力で単語カードを作成して例文を書く**ことが大切。
- ・単語カードには**自分で単語に関するイラストを必ず付ける**。イラストを描く過程で脳が自然に文脈を付けてくれるから忘れない。

(2) 論理的思考力を養う

- ・自分の意見を相手に伝えるためには**論理的に考える**必要がある。
- ・TOEFL の Writing や Speaking セクションの対策としても役立つので、必ず**意見に 3 つの理由を付ける癖**を付ける。
- ・英語の基本の「形」が身に付けば、読解においても役立つ。

(3) 教科間の連携を図りながら総合的な教養を養う

- ・TOEFL では理系、文系、高校範囲外の知識、大学での生活基礎知識など、さまざまな問題が出題されるので、それらに対する基礎知識を養う(動画などを活用)。

(4) 生徒のモチベーションを高める

- ・手を変え、品を変え、**生徒が「学びたい」と思う環境を与える**。そのために動画は非常に有効な手段。
- ・上記(1)～(3)のすべての段階において、**Out put をしながら In put もする**ことが大切。
- ・4 技能のどれかに偏るのではなく、**バランスよく!**がポイント。